

アブラハム(アブラム)等の概歴

創世記	11:26 テラが七十歳になったとき、アブラム、ナホル、ハランが生まれた。
創世記	11:31 テラは、息子アブラムと、ハランの息子で自分の孫であるロト、および息子アブラムの妻で自分の嫁であるサライを連れて、カルデアのウルを出発し、カナン地方に向かった。彼らはハランまで来ると、そこにとどまった。
創世記	11:32 テラは二百五年の生涯を終えて、ハランで死んだ。
創世記	12:4 アブラムは、主の言葉に従って旅立った。ロトも共に行った。アブラムは、ハランを出発したとき七十五歳であった。
創世記	16:3 アブラムの妻サライは、エジプト人の女奴隷ハガルを連れて来て、夫アブラムの側女とした。アブラムがカナン地方に住んでから、十年後のことであった。
創世記	16:16 ハガルがイシュマエルを産んだとき、アブラムは八十六歳であった。
創世記	17:17 アブラハムはひれ伏した。しかし笑って、ひそかに言った。「百歳の男に子供が生まれるだろうか。九十歳のサラに子供が産めるだろうか。」
創世記	21:5 息子イサクが生まれたとき、アブラハムは百歳であった。
創世記	23:1 サラの生涯は百二十七年であった。これがサラの生きた年数である。
創世記	25:1 アブラハムは、再び妻をめとった。その名はケトラといった。
創世記	25:4 ミディアンの子孫は、エファ、エフェル、ハノク、アビダ、エルダアであった。これらは皆、ケトラの子孫であった。
創世記	25:7 アブラハムの生涯は百七十五年であった。
創世記	25:17 イシュマエルの生涯は百三十七年であった。彼は息を引き取り、死んで先祖の列に加えられた。
創世記	25:20 イサクは、リベカと結婚したとき四十歳であった。リベカは、パダン・アラムのアラム人ベトエルの娘で、アラム人ラバンの妹であった。
創世記	25:26 その後で弟が出てきたが、その手がエサウのかかと(アケブ)をつかんでいたの、ヤコブと名付けた。リベカが二人を産んだとき、イサクは六十歳であった。
創世記	35:28 イサクの生涯は百八十年であった。



【参考】歴代誌上 1:32

アブラハムの側女ケトラが産んだ子は、①ジムラン、②ヨクシャン、③メダン、④ミディアン、⑤イシュバク、⑥シュア。ヨクシャンの子は、シェバ、デダン。